

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年4月12日
【会社名】	三洋化成工業株式会社
【英訳名】	SANYO CHEMICAL INDUSTRIES, LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 安藤 孝夫
【本店の所在の場所】	京都市東山区一橋野本町11番地の1
【電話番号】	075(541)4314
【事務連絡者氏名】	経理部長 伊東 欣哉
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋本町一丁目5番6号第10中央ビル
【電話番号】	03(5200)3400
【事務連絡者氏名】	東京支社総務部長 丸林 裕之
【縦覧に供する場所】	三洋化成工業株式会社 東京支社 (東京都中央区日本橋本町一丁目5番6号第10中央ビル) 三洋化成工業株式会社 大阪支社 (大阪市中央区本町一丁目8番12号オーク堺筋本町ビル10階) 三洋化成工業株式会社 名古屋営業所 (名古屋市中村区名駅南一丁目24番30号名古屋三井ビル本館16階) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

(注)上記の東京支社、大阪支社及び名古屋営業所は、金融商品取引法に規定する縦覧場所ではありませんが、投資者の便宜を考慮して、縦覧に供する場所としております。

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

2019年3月26日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

イ．連結子会社における減損損失（連結）

当社連結子会社であるSDPグローバル（マレーシア）SDN.BHD.（以下SDPM）において、製品や原材料の需給動向を踏まえ今後の業績見通しに基づき検討した結果、同社が保有する固定資産について減損の兆候が認められたことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上する見込です。

ロ．関係会社株式評価損（個別）

上記に伴い、当社連結子会社であるSDPグローバル(株)（以下SDP）が保有するSDPM出資金の実質価額が著しく低下するため、SDPにおいて関係会社出資金評価損を計上します。これにより、当社が保有するSDP株式の実質価額が著しく低下するため、当社個別決算において関係会社株式評価損を計上する見込です。

なお、関係会社株式評価損につきましては、連結決算上消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

(3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、2019年3月期において、下記のとおり減損損失及び関係会社株式評価損を特別損失として計上する見込みです。

連結

減損損失 約88億円

個別

関係会社株式評価損 約44億円

以 上